

事業所名		放課後等デイサービス キッズワンハート		公表日		2025 年 3 月 14日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		7	1
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		8		国の定める人員基準でスタッフを配置している。保育士、児童指導員、指導員等、児童分野でも経験と専門性を備えたスタッフを配置している。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	3	教室内はバリアフリーではないが、意図的に段差を設けることで身体の使い方を学ぶ機会としている。	介助が必要な利用者様には個々に合わせて介助をする。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8		学習スペースと活動スペースを分け、一人一人が集中できるスペースを作れるように工夫している。また、一人ひとりが落ち着いて過ごせるスペースや特性に応じた環境を設定している。	活動に応じて環境を設定していく。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8		収音室を用意し、落ち着いて過ごしたい時や、集中して学習に取り組みたいときに使用している。	収音室に扉がないため、完全に個室で過ごしたいときに対応が難しい。パーティション等で対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		8		日ごろからPDCAサイクルを取り入れ、業務改善に努めている。職員の意見が多く反映できるように努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8		保護者向けアンケート評価表を活用し保護者様の意向の把握に努めている。	今後も保護者様の意向を把握し改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8		毎日、朝礼、昼礼、振り返りを行い職員同士意見交換をして業務の振り返り改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	6		現在、利用者様と社内評価のみになっている。今後、外部評価を受けて業務改善に努めていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		8		定期的に外部研修に参加している。また内部研修を定期的に行い、職員の資質の向上に努めている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8		株式会社波音、ホームページのブログ内で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		8		個々の子どもに対して定期的に面談を実施し、アセスメントをとったうえで個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		8		定期的に会議を行っている。職員間で面談内容を共有し、検討したうえで個別支援計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		8		職員間で共有している。日々のサービス提供記録を作成する際も確認をして振り返りを行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		8		医師の診断結果を共有したり、保護者様との面談や、日々の記録等を確認したりして、適応行動の状況を確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		8		ガイドラインに従い、5領域踏まえ、家族支援・移行支援等具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		8		定期的に話し合いを行ったうえでプログラムの立案をチームで行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		8		固定化しないように職員間で話し合いをしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		学校のある平日は子どもたちの発信から集団活動へ繋げるように支援している。土曜日や長期休暇は、集団活動を職員が事前に準備をし提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		常勤職員で朝礼を行い、打ち合わせをしている。昼礼で非常勤職員と共有し、役割分担等チームで連携して行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	送迎終了後に支援の振り返りを行っている。その日に職員が揃っていない場合は次の日の朝礼で共有し、記録をとっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の支援に関して毎日記録を作成している。支援を振り返り検証・改善する時間を設けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		年に2回のモニタリングを行い、必要に応じてそれ以上の計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		クッキングや製作、音楽活動等を子どもが主体となって取り組み成功体験を積み、自己肯定感を高めたり、お友だちと関わり表現する喜びを体験し活動の場面で自己選択する経験ができるように支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	8		子どもが主体的に活動に取り組みめるように意見を聞き自己選択、自己決定できる機会を多く設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	サービス担当者会議には児童発達管理責任者等の適任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	必要に応じて、学校等と支援会議を行っている。また、相談支援専門員や保護者様を通して情報共有して連携をとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		各学校の年間行事や下校時刻等を把握している。学校と連携を取りながら連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		保護者様に了承を得て、保育所や事業所等に訪問させていただき見学、情報交換を行い相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		現在対象の児童がいない。	対象の児童がいた場合は、支援の内容を共有していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	協議会等でアドバイスをいただく機会があった。	対応が難しい子どもやご家族等、個別のケースへの対応等支援の向上を図るためにもスーパーバイズを受けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	地域の公園等で一緒に遊ぶ機会がある。	放課後児童クラブ等と併用利用している児童が複数いる。地域の中で安心して過ごせる場所を増やしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	児童発達管理責任者が町の自立支援協議会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		アプリの連絡帳で保護者様とやり取りをしている。必要に応じて送迎時にお伝えしたり、お電話で、お伝えさせていただいたりし共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	対処方法等のアドバイスの機会は設けている。保護者様向けの研修をご紹介させて頂いたり、進路等の情報の提供を行っている。	相談事があった場合等にその都度、情報を共有し、アドバイスをさせていただいているが、要望があればペアトレ等を行ってみたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に運営規程と利用者負担等について説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		子どもや保護者様の意向を確認しウェルビーイングの向上につなげるように努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		個別支援計画の説明を行い、保護者様から同意を得られた場合はサインをいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		悩みに対する相談は随時行っている。日ごろから、保護者様との関係を大切にし、相談しやすい雰囲気作りを心がけている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7	現在父母会は行っていない。きょうだい同士で交流する機会はないが、きょうだい児の相談に応じ、きょうだいを含めたご家族のトータル的なサポートを行っている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		契約時に苦情の窓口を案内している。苦情があった場合、苦情受付、解決担当につなげ、迅速かつ適切に対応できるように努めている。また社内で共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		ホームページで週に1回ブログを公開し、活動内容を保護者様に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報に記載されている書類は鍵付きの書庫で保管している。破棄書類はシュレッター処理をしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		ご利用児童様、保護者様の状態に応じて意思疎通に配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	地域住民が集まるイベントで、事業所の紹介をさせていただき、地域の方や民生委員の方に広く知っていただいた。	今後は地域住民の方を招待する機会や、ボランティアの方を受け入れていくなどして、交流を深めつながりを作っていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルを策定し定期的に研修を行っている。年間計画を策定し発生を想定した訓練を行っている。	保護者様へのマニュアルの周知を図っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPを策定し随時更新している。BCP委員会を開催し、他事業所との連携をはかっている。防災の年間計画を策定し、定期的に避難訓練や、防災について学ぶ機会を設けている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		事前に服薬の情報を把握している。	今後は予防接種の情報の把握にも努めていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	契約時にアレルギーの確認をさせていただき、適切に対応させていただいている。医師の診断がなく指示書がなくても除去の希望があれば対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し、定期的に必要な訓練を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		活動の取り組みについてはアプリ内の活動案内で報告している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットを作成し、改善に努められるように報告書を作成している。職員間で共有し再発の防止に努めている。虐待防止委員会で各事業所のヒヤリハットを共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年に2回以上の研修を行っている。全事業所で役職別にメンタルヘルスの研修にも参加し、職員の心身の安定につながるに努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		保護者様に説明を行い同意書をいただいている。個別のケースに対して、個別支援計画に記載し、保護者様に事前に了承を得ている。		